

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和02年12月01日

計画の名称	沼津市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画（防災・安全））													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	沼津市													
計画の目標	本市は、海と山に囲まれており、東海地震による甚大な被害が想定されている。 このため、災害に強く、安全・安心に暮らせる市営住宅を供給するため、計画的な改修を進めるとともに、耐震化の促進支援や狭あい道路の整備等を通じて 災害に強いまちづくりを推進し、誰もが安心して暮らせる住環境の確保を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,070	A	1,044	B	0	C	26	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	2.42	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	災害に強く安全・安心な住宅ストックを形成する			
	住宅・土地統計調査等の統計データや事業執行状況をもとに算出する。 （住宅の耐震化率）＝（耐震性が確保された住宅数）／（全住宅数）	89%	%	95%
2	災害に強く安全・安心な住宅ストックを形成する			
	事業の実施状況をもとに、狭あい道路が解消された延長を22.5kmとすることを目標とし、その達成率を算出する。 （目標達成率）＝（解消された延長）／（目標とする延長）	83%	%	100%
3	災害に強く安全・安心な住宅ストックを形成する			
	事業の実施状況をもとに、報告済市有建築物のアスベスト分析調査完了を目標とし、その達成率を算出する。 （目標達成率）＝（分析調査を実施した件数）／（目標とする件数）	85%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
沼津市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A15-009、A16-001、A16-002、A16-003、A16-004、A16-005、A16-006、A16-007、A16-008												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づ く事業	A15-001	住宅	一般	沼津市	直接	沼津市	－	－	公営住宅等ストック総合 改善事業	原団地外壁改修他工事（８棟 ）、その他市営住宅の外壁改 修他工事（８棟）、EV更新工 事（２団地）	沼津市	■	■	■	■	■	363		策定済	
											小計						363			
住環境整備事業	A16-002	住宅	一般	沼津市	間接	個人	－	－	住宅・建築物安全ストッ ク形成事業	木造住宅耐震補強助成事業（ 一体型）、木造住宅建替助成 、建築物等耐震診断、建築物 補強計画策定等	沼津市	■	■	■	■	■	349		－	
	A16-003	住宅	一般	沼津市	間接	個人	－	－	住宅・建築物安全ストッ ク形成事業	ブロック塀等の安全確保に関 する事業	沼津市	■	■	■	■	■	21		－	
	A16-004	住宅	一般	沼津市	間接	個人	－	－	住宅・建築物安全ストッ ク形成事業	アスベスト分析調査	沼津市	■	■	■	■	■	2		－	
		民間建築物																		
	A16-005	住宅	一般	沼津市	直接	沼津市	－	－	住宅・建築物安全ストッ ク形成事業	アスベスト分析調査	沼津市	■						1		－
		公共建築物																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-006	住宅	一般	沼津市	間接	個人	－	－	住宅・建築物安全ストック形成事業	アスベスト除却	沼津市	■	■	■	■	■	3		－
		民間建築物																	
		A16-007	住宅	一般	沼津市	間接	個人	－	－	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅整備に係る助成等	沼津市	■	■	■	■	■	3	
	助成金、奨励金、補償費																		
	A16-008		住宅	一般	沼津市	直接	沼津市	－	－	住宅・建築物安全ストック形成事業	わが家の専門家診断事業、住宅耐震化相談支援事業	沼津市	■	■	■	■	■	62	
	A16-009	住宅	一般	沼津市	直接	沼津市	－	－	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅整備に係る測量委託等	沼津市	■	■	■	■	■	240		－
		委託料、工事請負費																	
												小計						681	
											合計						1,044		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づ く事業	C15-001	住宅	一般	沼津市	直接	沼津市	－	－	EV更新工事に伴う階段昇 降補助事業	EV更新に伴う階段昇降補助（ 2団地）	沼津市				■	■	8	－	
		入居者の生活継続性を確保でき、良好な住環境が図られる。																	
											小計						8		
住環境整備事業	C16-002	住宅	一般	沼津市	間接	個人	－	－	ブロック塀等耐震改修促 進事業	ブロック塀の撤去・改善	沼津市	■	■	■	■	■	17	－	
		ブロック塀の耐震化により、災害に強いまちづくりを推進する。																	
	C16-003	住宅	一般	沼津市	間接	個人	－	－	耐震シェルター、防災ベ ッド等整備事業	耐震シェルター、防災ベッ ド等の設置	沼津市					■	1	－	
		耐震シェルターや防災ベッ ド等の設置に対する補助により、震前においてより安心・安全な住宅環境の確保を促進する。																	
											小計						18		
											合計						26		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	R07
配分額 (a)	81	104	63	144	69
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	81	104	63	144	69
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	80	104	63	144	52
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	17
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	1	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	1.23	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 沼津市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画（防災・安全））

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ★①計画の目標が基本方針と適合している。	☐
I. 目標の妥当性 ★②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	☐
I. 目標の妥当性 ★③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	☐
I. 目標の妥当性 ★④関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	☐
I. 目標の妥当性 ⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	☐
I. 目標の妥当性 ⑥数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ★①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ★②十分な事業効果が得られることが確認されている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 ⑤事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ⑦地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	☐
II. 計画の効果・効率性 ⑧地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	
III. 計画の実現可能性 ★①事業熟度が十分である。	☐

[illegible]